

教生学第 161 号  
平成 29 年 5 月 23 日

各 教 育 局 長  
各 道 立 学 校 長  
各市町村教育委員会教育長 様  
(各市町村立学校長)

北海道教育庁学校教育局参事 (生徒指導・学校安全) 川 端 雄 一

学校で発生した製品事故に関する情報提供について (通知)

このことについて、文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課から、別添写しのとおり事務連絡がありましたので通知します。

ついては、学校における製品事故を防ぐための情報を取りまとめた注意喚起用チラシを活用するなどして、各学校において製品事故の防止に努めるようお願いいたします。

(生徒指導・学校安全グループ)



事務連絡  
平成29年5月19日

各都道府県・各指定都市教育委員会学校安全主管課  
各都道府県私立学校主管課  
各国公私立高等専門学校事務局  
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課  
大学を設置する各学校設置会社担当課  
各国公私立大学担当課  
各公私立短期大学担当課  
各国公私立高等専門学校担当課  
各都道府県専修学校各種学校主管課  
各都道府県教育委員会専修学校各種学校主管課  
附属学校及び専修学校を置く各国公立大学法人担当課  
厚生労働省医政局医療経営支援課  
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課  
各都道府県・指定都市認定こども園主管課

御中

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

#### 学校で発生した製品事故に関する情報提供について

このたび、経済産業省より、別紙「学校で発生した製品事故に関する情報提供について」により、情報提供がありましたのでお知らせします。

今回の情報提供には、学校（専修学校・各種学校を含む。以下同じ。）における製品事故を防ぐための情報を取りまとめた注意喚起用チラシが添付されています。

については、各学校における製品事故を防止するため、各都道府県教育委員会学校安全主管課にあつては、域内の市区町村教育委員会に対して、各都道府県私立学校主管課にあつては、所管の私立学校に対して、都道府県専修学校各種学校主管課及び都道府県教育委員会専修学校各種学校主管課にあつては、所管又は所轄の専修学校及び各種学校に対して、附属学校を置く各国公立大学法人担当課にあつては、管下の附属学校に対して、厚生労働省の専修学校主管課にあつては、所管の専修学校に対して、都道府県認定こども園主管課においては、域内の市区町村認定こども園主管課及び所轄の認定こども園に対しても周知いただくようお願いします。

**【問い合わせ】**

文部科学省初等中等教育局  
健康教育・食育課学校安全係

tel : 03-5253-4111(内線 2917)

fax : 03-6734-3794

平成29年4月24日

文部科学省初等中等教育局  
健康教育・食育課長 殿

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室長

学校で発生した製品事故に関する情報提供について

経済産業省は、製品事故の未然防止のため、消費者及び事業者に対し、注意喚起等の情報提供に取り組んでおります。

今般、当省及び製品評価技術基盤機構は、学校における製品事故の未然防止に向け、学校での製品事事故事例より注意喚起が必要な事項をとりまとめた、別添のちらしを作成致しました。

貴省から全国の自治体・関係機関に向けて通知いただき、事故の未然防止に役立てていただきますようお願いいたします。

別添：「学校での製品事故を防ぐために」

参考：過去の注意喚起ちらし「学校での製品事故を防ぐために」  
(平成25年6月、平成24年5月、平成23年3月、平成22年7月)  
<http://www.nite.go.jp/jiko/chuikanki/chirashi/index.html>

## 注意！学校の中にも危険が潜んでいます

### 数十台のカセットこんろが焦げた

#### 事例 大学の構内

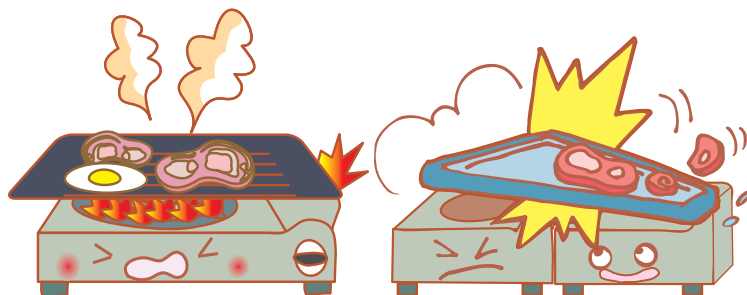
イベントで同時に多数のカセットこんろを使っていたところ、数十台のこんろが焦げる事故が発生した。  
(2016年6月 滋賀県)

#### 原因

鍋を端にずらしてポンベの上のカバー部分にあたるような使い方をしていたため、ポンベカバー部分が高温になって焦げたものです。

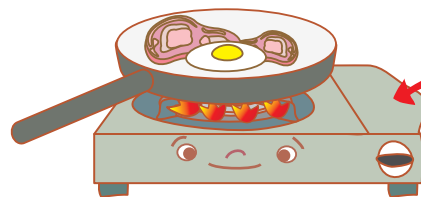


- こんろ全体を覆うような大きな鍋や鉄板などは使用しないでください。また、こんろを2台並べて使わないでください。
- 五徳が裏返しになっていないか確認し、カセットポンベは正しく装着してください。



カセットこんろ全体を覆うような大きな鉄板や鍋を使わない

2台並べて使わない



ポンベのカバー部分を覆わないでください

### ガス栓付近から出火

#### 事例 中学校の調理実習室

ガスこんろを点火したところ、ソケット（迅速継手）付近から火が出た。  
(2016年10月 兵庫県)



#### 原因

ガス栓とソケットの接続が不完全だったためガスが漏れ、ガスこんろの火が引火したものです。



- ソケットなどガス栓との接続具は、確実に接続してください。
- ガス機器を接続していないガス栓は、専用のガス栓キャップをかぶせ、誤開放を防止する「ガス栓カバー」を装着しましょう。

### 冷却スプレーで凍傷

#### 事例 大学の体育館

運動中、ひざをねんざしたため冷却スプレーで冷やしたら、凍傷を負った。  
(2014年6月 東京都)

**使用方法を読んで使ってください!!**

#### 原因

冷却スプレーを患部に近づけて長く吹き付けたためと考えられます。

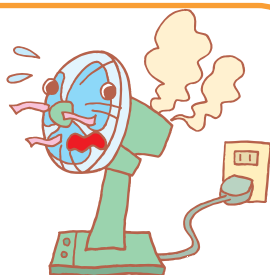


- 同じ箇所に長時間スプレーしないでください。凍傷を起こすおそれがあります。
- スプレー缶には噴射剤として可燃性ガスが含まれています。火気の近くでは使用しないでください。

### 古い扇風機で火災

#### 事例 高等学校の教室

扇風機が焼けてその周辺を破壊する火災が発生した。  
(2015年8月 新潟県)



#### 原因

長期使用（約45年）により、内部の配線が半断線状態となってスパークが発生し異常発熱したものです。

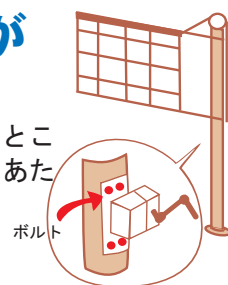


- 長期間の使用が原因の火災が発生しています。長く使っている製品に、羽根が回らない、時々止まるなどの異変、または異音があれば使用を中止してコンセントを抜き、事業者などに相談してください。

### ネット巻器で顔にけが

#### 事例 中学校の体育館

バレーボール用のネットを張っていたところ、支柱からネット巻器が外れて顔にあたり、生徒が軽傷を負った。  
(2016年7月 大阪府)



#### 原因

定期点検をしていなかったため、ネットからの衝撃による固定ボルトの緩みに気がつかなかったものです。



- 使用する前、ボルトやナットなどに緩みがないか確認してください。
- 日常・定期点検を必ず行ってください。事業者などによる保守点検も受けてください。

⚠ このマークは、取り扱いを誤った場合、重篤な被害を負うことが予想されますので注意をお願いします。

消費者ホットライン（製品事故を含む消費生活相談を受け付けています）

ゼロ・ゴー・ナナ・ゼロ 守ろうよ、みんなを！  
0570-064-370